道徳通信

愛西市立八開中学校
第1学年
令和3年5月10日
No. 3

「自分の『よさ』をみつめよう」 ～道徳「優しさの光線」を通して考えました～

「もうすぐ三年生ね。進路を考える時期だけど、山本君の将来の夢は何？先生にそっと教えてよ。」

「僕にはまだ、わからないんです。得意なことも、好きなこともないんです。」

山本翔は、勉強しても成績が上がらず、得意なことも好きなことも見つからず、自信を失っていました。養護の藤崎先生に将来の夢をきかれても、わからないとしか言えません。

土曜日の夕方、買い物に出かけた翔は、犬（クッキー）を抱いた藤崎先生に出会い、先生の勧めで震えている犬を抱きました。すると、その犬の震えが止まります。藤崎先生の、翔にしかない優しさが伝わったのだという言葉が、翔の胸に響きます。

「僕にしかない優しさ。僕だけがもっているもの。」

僕にも見つけられるかな、自分にしかないもの。翔は、空を見上げました。本当に久しぶりに空を見上げました。翔の気持ちの変化に注目し、自分の『よさ』について考えました。

●● ●●くん

自分のよさは、相手のためにがんばれるところ。
(まだ、自分の) 夢がわからない。

●● ●●くん

将来の夢や自分のやりたいことを、これから見つけていきたいと思った。

●● ●●さん

自分には、自分のよさがあまり見つけられなかったけど、友達や、周りの人は見てくれていることがわかった。

●● ●●くん

自分のよさは、自分だけじゃ全部は見つけられなくて、人との関わりのうちに、自分のよさや相手のよさがわかるのかもしれない。

●● ●●くん

山本君のやさしさを教えてくれたのはクッキーだと思った。今、急いで自分のよさを考えるのではなく、これから3年いろいろなことをして、自分のよさを見つけていければいいと思った。

●● ●●さん

自分のよさがあまりわからないけど、友達に聞くとたくさんありました。友達のよさを見つけるのはすごく大切なことだと思います。一人一人ちがうから、同じよさやちがうよさがあって当たり前だと思います。

●● ●●さん

友達から、思いやりがあって周りが見えるところと言ってもらえてうれしかったです。自分のよさを生かして友達と行動したいなと思いました。将来の夢は決まっているので、このまま勉強をしっかりとやって、自分のよさがもっといいものになるようにがんばりたいなと思いました。

●● ●●さん

自分のよさは、見た目や得意なことだけではなく、心や考え方もなんだなと改めて気づいた。心や考え方は、まったく一緒の人はいないと思うし、みんな思ったり、考えたりするから、一人一人絶対にいいところがあるなと思った。自分を大切にすれば、きっといいところが見つかると思う。

●● ●●くん

自分では気づかない自分のよさは、友達には気づいてもらっている。授業前、自分ではわかっていなかったよさを、授業後わかるようになった。

●● ●●さん

自分にしかないよさをみがく。いろいろなよさがある中でも、友達のよさや自分のよさを見つけていく。少しでも自分ができることを探していきたいと思った。